

# 支部総会実施報告書

報告者(支部名) 北海道支部 (役職名) 事務局 (氏名) 村椿雅俊

提出日 2023 年 11 月 15 日

1. 支部名	北海道支部
2. 開催日時	2023年 11月 10日(金) 18:00 ~ 20:10
3. 開催場所	ホテルマイステイズ札幌アスペン
4. 出席者数	参加者総数 32名 【内訳】 ・支部会員出席者数 30名 ・他支部からの出席者数 1名 ・大学(講演者)関係者数 名 ・本部出席者数 1名
5. 総会 総会議事・報告事項 (総会での質疑・応答 要望・事項 等を含む)	司会(村椿雅俊)より 開会の詞と来賓の紹介 支部長挨拶: 藤田勝康 議案: (報告: 村椿雅俊) 1. 2022年度事業報告 (資料1) (議案承認) 2. 2022年度収支決算報告及び監査報告(資料1) (議案承認) 2021年度はコロナのため活動せず。9/3「保証人対象 大学との連絡会」2名出席。 2022年度は、支部役員会を実施。支部総会は実施せず。 9/3「保証人対象 大学との連絡会」1名出席。12月支部動画を作成し本部に提出。 3. 2023年度事業計画 (資料2) (議案承認) 4. 2023年度収支予算 (資料2) (議案承認) 2023年度は、5/11 支部役員会を実施。9/2「保証人対象 大学との連絡会」2名出席。11/10 支部総会実施。 支部総会の会費 8000円について、支部総会支援費として 2000円/人、10周年特別支援費として 3000円/人、合計 5000円を差し引いて、3000円とした。 5. 会則の変更と支部役員改選について(別紙1・2) (議案承認) 1) 東京都市大学の学科構成の変更に伴い(「別紙1」校友会北海道支部規約(案)(2019.8.30 総会議案))のうち、以下の補足1、補足2、補足3が改めて確認された。 補足1: 学科同窓会の「医工会、さきがけ、等々力会」卒業生の取り扱いを次回役員会にて決定する必要あり。 補足2: 2019年度選任の任期は2年とする(改選時期を本部と合わせるための特別措置)。

	<p>補足3:平成30年度までは1月～12月。本部と合わせるため2019年度は1月～翌年3月までの15か月とする。</p> <p>2) 支部の運営体制について(「別紙1」令和5年(仮)北海道支部役員)、支部長と運営幹事は仮として決定したが、支部役員の決定はこれから実施する。支部役員候補からの了承をいただいた後、次回の支部役員会で承認を受ける予定。監査報告も実施していない。監査実施後、次回に報告を行う。</p> <p>(報告:藤田勝康)</p> <p>6. 北海道支部プライバシーポリシー制定について(資料3)(議案承認)        校友会本部のプライバシーポリシーをベースに北海道支部のプライバシーポリシーを作成した。読んでいただき、疑問点や修正点があれば知らせてほしい。        「北海道支部は3年間で担当事務局が変更されるので、変更された時点で担当の氏名を変更する」ことが了承された。</p> <p>7. その他        (報告:村椿雅俊)</p> <p>1) 会員動静について、        下記8名の物故者報告        宮島郁夫 様 (1961年土木卒)        萬昌幸 様 (1966年建築卒)        中川喜久雄 様 (1952年土木卒) 令3年5月3日没        佐々木信夫 様 (1968年機械卒) 令3年8月没        松本達也 様 (1963年経営卒) 令4年10月17日没        村上行夫 様 (1960年機械卒) 令4年11月没        宮本太洋 様 (1964年生産機械) 令5年4月10日没        山谷裕通 様 (1964年 建築卒) 令5年6月21日没        なお、「別紙2」令和5年(仮)北海道支部役員の表の中に「死亡2名」の記載があるが、確認がとれていない。        他の卒業生で逝去されたという情報を持っている方は知らせてほしい。</p> <p>(報告:藤田勝康)</p> <p>2) 北海道支部学科構成について(資料4)        2023年の同窓会名簿より、学科別の構成人数を表とグラフにまとめた。新しい学科の卒業生が若干増えている。年代別では60代以上が70%近くを占めている。        今回、初めて北海道の地域別・市町村別の人数を表にまとめた。都市別では、札幌市263名、函館市25名、旭川市21名、帯広市17名、苫小牧市15名がベスト5である。札幌市が圧倒的に多いが、他の多くの地域にも卒業生が10名以上いるので、他の地域との交流を図りたい。</p>
<p>6. 懇親会        (懇親会内容など)</p>	<p>司会: 中川原信夫幹事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶</li> <li>校友会支部委員長 松浦弦三郎様</li> <li>北海道東北ブロック長・宮城支部長 山形 洋様</li> <li>・乾杯 北海道支部長 藤田勝康</li> <li>・大学近況、校友会活動状況 松浦弦三郎様</li> <li>・支部動画紹介 藤田勝康</li> <li>・中締め 村椿雅俊</li> </ul> <p>◎今年の出席者は、真鍋正之さん(1957年建築卒 89歳)から成澤俊輔さん</p>

	(2021年エネルギー化学卒)まで、幅広い世代の卒業生が集っていただき、熱気がありながらも、和気あいあいの雰囲気で開催された。
7. 支部の現況 (課題とその取組み)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 北海道支部役員承認を早急に行い、次期運営体制に引き継ぐこと。(議案5)</li> <li>2) 学科同窓会の「医工会、さきがけ、等々力会」卒業生の取り扱いを次回役員会にて決定すること(議案5)</li> <li>3) 支部構成員の高齢化進んでおり、運営体制も若返りが急務。そのためには、卒業生の進路(就職企業)のデータ整理が必要である。(資料4)</li> <li>4) 北海道支部の卒業生の地方(都市別)別の上位5位までの構成は、札幌263名、函館25名、旭川21名、帯広17名である。札幌が圧倒的に多いが、他に10名以上の都市が3つある。以前のように、交流をはかりたい。そのためにも、北海道の地方の卒業生の進路を把握する必要がある。(資料4)</li> <li>5) 保証人+学生・大学(教員・事務)・校友会の懇談会の開催について 「保証人対象 大学との連絡会」を利用した、上記メンバーの懇談会の開催について、(個人的に)支部長(藤田)が支部委員長の松浦様に提案した。内容は、午前中に大学(教員・事務)が、保証人と学生(夏休み中)に出席状況・成績・課外活動・大学生活等について報告する。その後、昼食を兼ねた懇親会を行う。大学や同窓会の説明は、懇親会の中で行う。 このように、保護者・学生・大学・同窓会が一同に集まってコミュニケーションを取ることで、いろいろな情報が得られて共有され、信頼感や安心感が醸成されることが期待される。 (他大学で実施例あり)</li> </ol>
8. 次年度の 総会開催期日	本年と同時期に開催予定。
9. 次年度の 企画事業予定 (内容、期日)	・支部役員会(来年3月頃開催予定)